

成功する男は

みな、

(女性社員に好かれる

24  
の法則)

女子力を使う

角川いつか

*Itsuka Kadokawa*

文芸社

# 電子書籍の操作について

- ・ 目次をクリックすると、該当ページまで移動します。  
また、移動先ページの見出しをクリックすると、目次に戻ります。
- ・ 「十字キー」やマウスのホイールを使用して読み進めます。
- ・ 「フルスクリーンモード」に設定すると、読みやすくなります。

「フルスクリーンモード」設定方法

メニューバー「表示」→「フルスクリーンモード」

Escキーで元の表示に戻ります。

※パソコン環境により、「フルスクリーンモード」が使用できない場合があります。

成功する男は

みな、

(女性社員に好かれる  
24の法則)

女子力を使う

角川いつか



序 章

生まれ持った「男女の違い」とは？

9

脳のつくりから見た性差／10

ホルモンによる性差／13

まとめ／16

第1章

女性社員に好かれる方法を知っていますか？

19

女性はおしゃべり自体が快樂／20

「言行一致」していない人は嫌われる／26

上司に「ペコペコ」しない／32

「デリカシー」を心がける／38

キチンと仕事をする／44

仕事に対する女性のスタンスを理解する／50

コラム 1

理想の上司

56

第2章

こんな男性社員になっていませんか？

57

女性社員には「均等に」接するのが基本／58

男性だけで固まるのはみっともない／64

## コラム2

### 最悪の上司

- 権威をかざしてエラそう／70  
お局様を怖がってばかりではいけない／76  
ケチな人は絶対に尊敬されない／82  
恋人探しに躍起！／88  
セクハラ・パワハラは論外！／94

100

## 第3章

### 女性の「ヤル気」を下げていませんか？

101

- 勝ち負けにこだわらない／102  
「叱って伸ばす」は男の論理／108  
お礼のタイミングを逃さない／114  
派遣社員も同僚・仲間／120  
「言わなくてもわかるだろう」は通用しない／126  
大きすぎる目標じゃ伝わらない／132

## コラム3

### 新入社員が選ぶ理想の上司

138

## 第4章

デキる男性がやっていることは？

139

「声かけ」を心がけ実践する／140

話の筋道を立てさせる／146

うまく指示をする／152

「辞められる」ことを恐れない／158

信じて見守る気持ち／164

## ●ちよっといい話 三題

170

あとがき

175

## 男性上司に必要な十箇条

懐（ふところ）の深さ

思いやり、やさしさ

言行一致、首尾一貫

男気、勇気、男らしさ

粹（イキ）、仁義、人情

社会性、論理性、戦略性

叱り上手、励まし上手

責任を取る

率先垂範、お手本となる

部下に任せる

私はこれまで、数多くのリーダーと呼ばれる方たちと出逢い、親交を深めてまいりました。それら素敵な方々に共通していたのが、この十箇条です。

みなさん、リーダーシップがあり、セレクト&ジャッジが上手で好感度が高く、そして、時には非情でもありました。

そして、この十箇条は、女性社員に対する時、特に必要なものでもあります。

男性諸氏の中には、わざわざ女性が働きにくいように振る舞い、無意識のうちには女性に嫌われるような言動をしている損な方もいらっしゃいます。

そこに、男性と女性という、大きな壁ができてしまうのです。

同じ働く者同士、そんなことで悩ませたくないものです。

女性の目は、男性が思う以上に厳しいもの。

本書は、男性と女性の相対的な違いを元にした「女性社員と上手につきあい、お互いに発展していく方法」の手引き書です。

部下、特に女性社員を活かせずして、大きな出世はありません。「女性に人気のある上司ほど出世する」と言っても過言ではないでしょう。

ぜひ本書を読んで、仕事ができる男を目指してください。



序  
章

生まれ持った

「男女の違い」とは？

## 脳のつくりから見た性差

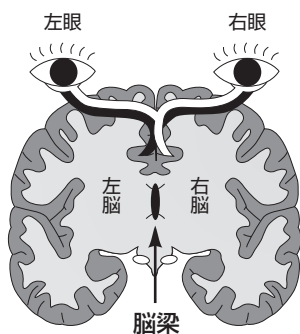
脳は右脳と左脳に分かれており、その二つを脳梁のうりょうという太い神経束がつないでいます。脳梁は、左脳と右脳を連携させ、脳全体（全身）の機能に大きな影響を与えます。

この脳梁の形や大きさに男女の差が見られ、大脳の全容積と比べた場合、女性のほうが脳梁の占める割合が大きいとのこと。

また、女性の脳梁のほうが太くて短く、神経線維の本数が男性よりも多いため、女性は左右の脳の情報交換が豊富だという説もあります。さらに、男性の脳は、左脳のほうが大きいとも言われています。

これらのことから、次のようなことが考えられます。

・男性は左脳中心型であり、左右どち



らか片方ずつを使う傾向が強い。

・女性**は**両脳の交換が男性より緊密だから、両方の脳を同時に使う。

よく女性は「右脳型」と言われますが、「両脳型」という表現のほうが妥当そうですね。少なくとも、言語の脳内処理においては、女性は両脳を使い、男性は左脳のみを使う傾向が強いことが確認されています。

右脳、左脳についても、一般的には次のようなことが、それぞれの脳の得意ジャンルとされています。

- ・右脳——感性、情緒、イメージ、音楽、空間、絵画、直感
- ・左脳——理性、論理、言語、平面、記号、理屈、科学

右脳が女性的なイメージ、左脳が男性的なイメージですね。そのため、右脳を女性脳、左脳を男性脳と呼ぶこともあります。

近年では、そうした表現が誤解を招きやすいということで、「システム脳」「共感脳」というふうに分類するようにもなりました。

これらの要素から考えて、男女には次のような性差があるとされています。

・男性は一点集中型。一度にたくさんのことをやるのは不得意。論理的に考え判断をする。思考と感情が直結しにくい（感情的でない）。

・女性は多方面分散型。一度にたくさんのことを処理できる（ながら族）。感情や情緒と理性や論理が、均等に同時に発揮される傾向がある。

こうしたことから、男性は、論理的なこと、感情的なことと分けて表現することが得意だとわかります。

対して女性は、両脳が男性より強く結びついているため、論理的に話そうとしても感情面が入り込んで、話にまとまりがなくなることがあると考えられています。

## ホルモンによる性差

男女の違いは、性ホルモンに大きく影響されます。

妊娠中の胎児は、性ホルモンの影響を受けて、身体だけでなく脳の性差にも作用するそうです！ もちろん、その後も性ホルモンが性差をつくっていきま

す。  
女性ホルモンは、エストロゲンとプロゲステロゲンに分けられ、排卵や妊娠、女性らしい身体的特徴の形成などに働きかけています。

一方の男性ホルモンはアンドロゲンと呼ばれ、男性っぽい特徴を作り出します。またアンドロゲンはテストステロンへと変換され、胎内で男性生殖器の発達に影響を与えます。そして脳にも働きかけて「**男性的な性質・特徴**」をもたらすとも言われています。また、**闘争本能、攻撃心、ヤル気、性欲などを高める作用**があるそうです。

テストステロンは女性にも存在しますが、男性よりはるかに少なく、そのため前述のような特徴も少なくなるようです。

また、近年注目されているのが、**オキシトシン**というホルモン。

性ホルモンではありませんが、子宮収縮や乳腺分泌を促す作用があり、マウスでの実験では、オキシトシンを脳に注入したところ「母親化」したそうです！

オキシトシンは、**対人関係が良好な時に分泌され、闘争、攻撃といった欲求を減らし、恐怖心を減少させます**。またオキシトシンがないと社会性が阻外され、人に投与すると**他人への信頼心が増す、ストレス物質の発生を低下させる**という実験結果があります。

こうしたことから、オキシトシンは「**共感ホルモン**」「**愛情ホルモン**」と言われており、**社会性や共感力を高め、癒しを与えるもの**として注目されているのです。

オキシトシンも男女ともに存在しますが、男性のほうが分泌量が少ないと言われています。そのため、**女性のほうが共感力があり、愛情豊かになる**という説もあります。

男性はストレスを受けると攻撃的になり、さらにストレスを高めると実験結果があります。そのストレスから生じた闘争心により、問題を解決し、ストレスを解消する傾向があるのです。対して女性は、ストレスを受けると「ミ

コミュニケーションをとって、オキシトシンの分泌が盛んになりストレスが減るそうです。身近な人とのコミュニケーションや共感でストレスを解消すると言えるでしょう。

以上のことから大まかに言える「ホルモンの作用による性差」は、

・男性は、闘争心や攻撃、ヤル気が強く、問題（ストレス）に対し「攻撃性」「積極性」で対処する。

・女性は、共感力や社会性（コミュニケーション能力）が優れており、問題に対し、愛情や共感、会話などで対処する。

といったことになるでしょう。

## まとめ

男女それぞれの特徴について、脳の仕組みとホルモンの観点から見てきました。

これらの説は、まだ研究途上にあるものようですし、もちろん**性差より個性差のほうが大きく、重要です。**

「男と女は違う」ということを、ことさら強調したいわけではありません。

しかし、私たちは普通に、異性のことを「自分と違ってしているなあ」と感じているのではないのでしょうか？

子供のころは、男の子は活発で、女の子はおとなしい傾向があります。また、絵を描かせれば、女の子のほとんどが家や花や人など、身近で静的なものを描きますが、男の子は飛行機や自動車、カッコイイ動物など、縁遠くて動的なものを描きます。

そしてさらに、社会が男女の別を助長します。特に日本は、男性と女性の違いを大きくしやすい社会環境と言えるでしょうね。

男女の行動や考えなどに違いがあるのは当然のことだと思います。

ではここで、男女の全体的な傾向をまとめておきましょう。

### 男性的傾向

- ・ 集中型、結果主義、論理的、合理的、動的、攻撃的、革新的。
- ・ コミュニケーションは、目的に到達するための手段。

### 女性的傾向

- ・ 分散型、プロセス主義、感情的、情緒的、静的、保守的。
- ・ 身近で親和性のあるコミュニケーションを求め、会話自体が楽しみ。

以下の本章では、こうした男女の違いを念頭に置きつつ、女性の気持ち・求めることを見出し理解して、うまく活用していく方法を記していきます。

そのために、多くの文献や事例を参考にしました。そして私の周りのさまざまな方に取材をし、オフィスにおける男女の考え方を整理した上で、よりリアルな声を聞くために、各界・各年代の女性による座談会を催しました。

座談会に参加していただいたのは、以下の方々です（お名前は秘します）。

# 途中省略

続きは製品版にてお読みください。

## 著者プロフィール

### いつか (角川 いつか)

生粋の江戸っ子。取材などで約40ヵ国を巡り、各国に幅広い人脈がある。ベストセラーとなった初のビジネス書『成功する男はみな、非情である。』と『ヤッパリ! 別れたほうがイイ男』は海外でも翻訳された。テレビ、ラジオ、講演、トークショーと、活躍の場を広げている。近著に、『大物の肝をつかむ処世術』(ビジネス社)、『できる人は「出逢い」を必ずモノにする』(成美文庫)、『結婚できない10の習慣「婚差値40」の女』(経済界)など。日本ベンクラブ会員。日本アカデミー賞協会会員。日本旅行作家協会会員。  
【公式ホームページ】 <http://www.itsuka-k.com>



## 成功する男はみな、「女子力」を使う

女性社員に好かれる24の法則

---

2012年 3月15日 電子書籍版発行

著者 角川 いつか

発行者 瓜谷 綱延

発行所 株式会社 文芸社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-1

電話 03-5369-3060 (編集)

03-5369-2299 (販売)

<http://www.boon-gate.com>

©Itsuka Kadokawa 2012 Coded in Japan

ISBN978-4-286-07040-7

(紙の書籍をお求めの場合には、お近くの書店にてお尋ねいただくか、文芸社ホームページ <http://www.bungeisha.co.jp> をご参照ください。)